

JA ほこた契約ショウガの現地巡回を実施

9月14日、10月11日に JA ほこたショウガ生産者12名に対して現地巡回を行いました。
当産地は新規生産者が増えており、年々栽培面積が拡大している産地です。そこで、従来の生産者、新規の生産者に基本技術の習得と収量向上を目的に現地巡回が行われました。
普及センターからは、貯蔵中の害虫対策として、収穫前の殺虫剤散布と根茎腐敗病対策として、疑わしい株を見つけたら排除するように指導しました。併せて霜対策の最終土寄せ、葉色を淡くするための葉面散布についても指導しました。今年は10月に多くの花芽が形成され栽培の難しい年でした。
生産者は品質の良いショウガを生産しようと熱心に話を聞いていました。普及センターは生産者の収量が向上できるように、これからも支援を続けていきます。

鉾田地域農業改良普及センター(成長産業)

